

令和5年度 子どもを性被害から守るための取組関係事業

県民文化部こども若者局次世代サポート課まとめ

項目	事業名等	R5年度事業内容	R4年度の実績	R5当初予算額 (千円)	R4当初予算額 (千円)	担当課	
子ども の性 被害 の未 然 防 止	1	デートDV防止セミナー	・学生等の若年層に対して、デートDVを防止するため、男女共同参画センターが教育機関と連携しながら研修を実施	・高等学校等生徒向け : 10校 (受講者917人)	378	378	人権・男女共同参画課
	2	子どもの性被害予防のための取組支援事業	・子どもの性被害予防のための県民の自主的な学びを引き続き支援	・合計148回 (参加者数: 延べ15,484人) 性教育: 21回 参加者 884人 人権教育: 39回 参加者 605人 情報モラル教育: 88回 参加者13,995人	2,150	2,150	次世代サポート課
	3	わいせつな行為根絶のための特別対策の推進	・校内・校外研修においてワークショップ形式の研修や専門家による研修の実施 ・教職員が守るべき校内ルールの周知 ・自己分析支援チェックシートの実施 ・コンプライアンスアドバイザーの運営 ・県立学校において児童生徒性暴力が疑われる場合に、専門家の協力を得た調査の実施	・全教職員を対象に研修を実施 ・教育委員会事務局職員を対象にワークショップ形式の研修を実施 ・すべての公立学校で、教職員が守るべき校内ルールの明文化し、児童・生徒や保護者へ周知 ・教職員へ自己分析支援チェックシートの配布 ・外から中の様子が見えない教室等の調査・改善を実施 ・「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律」の施行を受けて、懲戒処分等の指針を改正するとともに、法の趣旨や目的、対象となる行為等を説明した研修資料を作成し、すべての公立学校に配布	490	293	教育政策課
	4	性被害防止に向けた指導充実事業	・情報の専門家等からなる「子どもの性被害防止教育キャラバン隊」を県内高校、特別支援学校及び小中学校へ派遣 ・各学校で主体的に指導が行えるよう、「ネットを契機とする性被害防止のための指導方法等研修会」をオンラインで実施 ・電子メディアの利用方法についての啓発チラシを配付	・子どもの性被害防止教育キャラバン隊 135回 県立高校 59回 私立高校等 3回 中学校 27回 小学校 36回 特別支援学校高等部 10回 ・チラシを作成し、県内の小学5、6年生全員及び中学生全員に配付 ・「指導方法等研修会」をオンラインで行い、中学・高校・特別支援学校及び小学校の担当教員を中心に544名が参加 ・ネットトラブルの対応方法及び県内相談窓口をまとめたWebページを公開 ・児童生徒がインターネットを安心・安全に活用する力を育てるため、「GIGAワークブック信州」を作成し、県内全小中学校で使用できるように公開	1,621	1,621	心の支援課
	5	社会人権教育研修会の開催	・地域で人権教育・啓発を実施又は推進する方を対象に、「様々な人権課題について満蒙開拓から考える」を取り上げ実施	・社会人権教育研修会を、5か所 (東信、中信、南信、飯田、北信) で実施	667	717	
	6	人権講師派遣事業	・人権課題に関する理解及び認識を深め、命の尊さを感じ得る人権教育の推進を図るため、児童生徒・教職員・保護者等を対象とした講演会を開催する学校へ講師を派遣	・派遣校数 63校 ・講演回数 76回	2,930	2,851	

項目	事業名等	R5年度事業内容	R4年度の実績	R5当初予算額 (千円)	R4当初予算額 (千円)	担当課
	7 性に関する指導充実事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全県教職員を対象に専門的な指導方法の研修会開催（1回） ・ オンラインで、現代的な課題を扱う実践的な教職員向け研修会を開催（4回） ・ 教育課程研究協議会や学校が行う職員研修へ外部講師を派遣（20か所） ・ 指導者養成のための全国研修会への教員派遣（4名） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全県教職員を対象に基本的方法を踏まえた専門的な指導方法の研修会開催（1回） ・ オンラインで、喫緊の課題を扱う教職員向け実践的な指導法研修会を開催（4回） ・ 教育課程研究協議会や学校が行う職員研修へ外部講師を派遣（21か所） ・ 文部科学省研修へ教職員を派遣 ・ 性教育関係団体が全国を対象に開催する研修会への教職員の派遣（東京会場へ4名派遣） 	2,019	1,985	保健厚生課
子どもの性被害の未然防止	8 長野県青少年インターネット適正利用推進協議会事業	インターネットの適正利用の実行性ある取組を検討するため、官民協働組織である協議会の開催	・ 令和4年12月23日 WEB開催	178	178	次世代サポート課
		学校や県相談機関に寄せられた青少年のネットトラブル相談について、専門機関が助言・支援を実施	・ 相談件数：368件	2,062	2,062	
		地域における情報モラル向上支援事業として、保護者や地域住民が情報モラル、インターネット適正利用について学ぶ取組を支援	・ 「子どもの性被害予防のための取組支援事業」で実施した情報モラル教育研修会 88回 参加者13,995人	1,958	1,958	
	9 高校生インターネット適正利用推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校生ICTカンファレンスの開催を通じて、高校生が情報モラルについて自ら考え、他者の意見を聞き、議論して意見をまとめ、インターネットの適正利用のあり方に向けた主体的な取組を支援 ・ 高校生による情報モラル向上に関する発信を支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野大会（10月15日 Zoomを使用した自校参加）には高校9校、38人の生徒が参加 ・ オンライン開催の全国大会に長野県代表1校が参加、全国代表として選ばれたため内閣府、文科省及び総務省において意見を発表 ・ 高校生による中学生への情報モラル講座を実施（1月16日 松本工業高校生徒による松本市立開成中学校生徒への講義、2月3日 東海大学付属諏訪高校生徒による茅野市立東部中学校生徒への講義） 	229	174	心の支援課
	10 インターネットについてのアンケート調査の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネット利用に関する児童生徒の実態等を把握し、指導や啓発活動に活かすため、民間団体と協力しアンケートを実施 ・ 併せて保護者アンケートを実施し、子ども利用実態の把握状況や意識を調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間団体と協力し、小中高校の児童生徒を対象に5月～6月、保護者を対象に7月に実施、12月22日に調査結果を公表 ・ 調査結果をもとにアンケートに参加した市町村教育委員会の情報交換会を開催 	—	—	
	11 PTA指導者研修事業	・ 県PTA連合会及び県高等学校PTA連合会の指導者研修会において情報モラルに関する研修等を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ 義務関係：5地区8会場 参加者966人 ・ 高校関係：4地区4会場 参加者180人 	173	173	文化財・生涯学習課
	12 生涯学習推進センター研修事業	・ 県生涯学習推進センターの講座において情報モラルに関する研修等を実施（※R5は移動講座のみとなる）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の教育力向上研修：講座名：「子どもが見るネット端末の世界」参加者107人 ・ 移動講座：県内1地区 参加者33人 	1,908	1,907	
13 子ども安全総合対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールサポーター等による児童に対する情報モラル教育の実施 ・ 保護者に対する児童のインターネットの適正利用に係る啓発活動 ・ SNSにおいて不適切な書き込みを行った児童等に対する注意喚起を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インターネットの適正利用に係る啓発活動 441回（令和4年中） ・ SNSにおける不適切な書き込みに対する注意喚起 100件（令和4年中） 	32,144	32,160	県警人身安全・少年課	

項目		事業名等	R5年度事業内容	R4年度の実績	R5当初予算額 (千円)	R4当初予算額 (千円)	担当課
子どもの性被害の未然防止	相談体制・居場所づくり	14 地域・家庭における性教育の取組支援事業	・地域において個人又は団体が行う子どもの心身や性に関する相談活動等の取組を支援 ・「まちの保健室」支援事業 ・信州こどもカフェおでかけ保健室相談事業	・「まちの保健室」設置に対する支援、研修会の開催2回 ・信州こどもカフェおでかけ保健室相談事業18回、220人	239	239	次世代サポート課
	相談体制・居場所づくり	15 信州こどもカフェ運営支援事業	・学習支援や食事提供等を通じて、子どもの健やかな成長を支援するため、信州こどもカフェの運営費等の補助を実施 1か所3万円～11万円以内	・信州こどもカフェ設置数 191か所 (R5.3時点)	9,280	9,180	次世代サポート課
		16 子ども支援センター運営事業	・子どもや保護者、学校等からの相談に対応する「子どもの総合相談窓口」の運営 ・子どもの人権侵害に関する案件について調査・審議し、問題の解決や救済を行う「子ども支援委員会」の運営	・相談件数 653件 ・子ども支援委員会 4回開催 ・広報カード及びポスターを作成し、県内学校に配布	13,685	13,610	こども・家庭課 児童相談・養育支援室
		17 予期せぬ妊娠に悩む妊婦等支援事業	・乳児院が、産科医療機関、市町村等の関係機関と連携して、予期せぬ妊娠に悩む方への支援を実施	・年間2回関係者向けの研修(Web)を実施 ・県内の学校(中、高、特別支援、専門学校、大学)にカード、チラシ、ポスターを配布 ・相談実績 250件(暫定値)	6,813	7,251	心の支援課
		18 学校生活相談体制充実事業	・いじめや不登校など学校生活における児童生徒の様々な悩みの相談に応じるための電話等による相談窓口の設置	・学校生活相談センター、24時間対応 相談件数649件、延べ回数1,062回 (R5.1末時点)	13,061	12,790	
		19 LINEを活用した相談体制構築事業	・中学生・高校生の通信手段が電話からSNSに移行していることを踏まえ、いじめ・自殺防止等に向けたLINEによる相談を実施	・4月1日～3月31日の毎週水曜日の定期相談(51日) 長期休業前後の日曜日(21日) 年間72日 ・相談対応数749件 (R5.1月末時点)	10,580	9,975	
		20 スクールソーシャルワーカー(SSW)活用事業	・いじめ、不登校、暴力行為などの背景にある家庭的な問題に対応するため、社会福祉や精神保健福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを学校に派遣し、地域や専門機関等と連携して困難を抱える児童生徒を取り巻く環境を改善	・SSW37人を各教育事務所に配置 ・県SSWを19市教委(24人)へ派遣 ・支援児童生徒のうち継続支援児童生徒数 確定後報告(参考R3:926人) ・外部関係機関との連携	108,371	106,189	
		21 子ども安全総合対策事業	・スクールサポーター学校訪問の活性化 ・学校／警察相互の信頼関係構築及び情報共有に向けたスクールサポーター学校訪問の活性化	・スクールサポーター学校訪問 3,577回(R4.4～R5.1 年度の数値は4月10日前後に確定)	(再掲)	(再掲)	県警人身安全・少年課
		22 特別支援学校の多様性に対応できる外部専門家活用事業	・特別支援学校寄宿舎指導員研修において、「CAPながの」による研修を実施。児童生徒を性被害や虐待から守る意識とスキル、緊急介入の仕方、児童生徒との距離の取り方、非違行為防止等、児童生徒が安心して過ごせる支援や配慮点を目的とする。	・特別支援学校校長教頭合同研修会において、「CAPながの」による研修を実施 52名参加	55	257	特別支援教育課

項目		事業名等		R5年度事業内容	R4年度の実績	R5当初予算額 (千円)	R4当初予算額 (千円)	担当課
子どもを育てる	青少年健全育成県民活動活性化	23	将来世代応援県民会議運営補助(青少年育成事業)	・青少年健全育成の取組(信州あいさつ運動、少年の主張大会等)、県民会議の運営を支援	・あいさつ運動の実施、普及に係る啓発 ・少年の主張長野県大会実施 作品応募総数703人	1,115	1,115	次世代サポート課
		24	青少年サポーター設置事業	・青少年サポーターの委嘱及び研修会の開催 ・青少年育成コーディネーターの配置	・青少年サポーター 63市町村 個人登録者数:871人 団体登録者数:7団体230店舗 ・青少年サポーター研修会 1回 108人参加	3,258	3,258	
子どもを育てる	青少年健全育成県民活動活性化	25	子ども安全総合対策事業	・警察関係ボランティア活動等の活性化 ・青少年健全育成活動の支援、協働実施 ・長野県警察大学生ボランティアの活用と活動活性化 ・規範意識醸成活動(小学児童の防犯活動参加～わが家のセーフティリーダー、ボランティアと子どもの協働活動～地域ふれあい事業)の充実 ・街頭補導活動の強化	・少年警察ボランティア、長野県警察大学生ボランティアと連携し、各種少年の健全育成活動を実施 ・わが家のセーフティリーダーの委嘱 45校 2,106人 ・不良行為少年の補導 3,101人(令和4年中)	(再掲)	(再掲)	県警人身安全・少年課
性被害を受けた子どもの救済	性被害を受けた子どもを支える仕組みの構築	26	性暴力被害者支援センター運営事業(支援員資質向上研修会の開催)	・性暴力被害者の心身の負担軽減・回復のため、電話相談や面接相談により被害状況やニーズを丁寧に把握し、必要に応じた支援のコーディネートを実施(産婦人科医療等) ・二次被害防止のため、支援先へ同行支援	・電話相談(24時間)、支援等を実施 新規受付件数 113 ・性暴力被害者支援センター運営懇談会の開催 1回	20,479	22,375	人権・男女共同参画課
				・性暴力被害者に適切に支援を行うため、支援員を対象に資質向上研修を実施	・研修会 2回(ケース検討会及び講演)	44	50	
		27	スクールカウンセラー事業	・児童生徒が安心して学校生活を送り、学習に取り組めるよう、児童生徒の悩みに適切かつ迅速に対応できるスクールカウンセラー(公認心理師、臨床心理士等)を配置	・全ての公立小・中・義務教育学校にSCを配置 ・各教育事務所に配置されたSCを県立高等学校および県立特別支援学校に派遣 ・相談件数11,071件(R4.7時点)	204,446	199,151	心の支援課
		28	教職員を対象とした研修等を活用した取組の推進	・教職員への指導資料の周知・徹底や対応事例の情報共有を進めるための研修会を実施	教職員への指導資料の周知・徹底や対応事例の情報共有を進めるための研修会を実施	—	—	学びの改革支援課、保健厚生課
				・教職員が性被害に関する基本的な対応などを学ぶ研修等の実施	教職員が性被害に関する基本的な対応などを学ぶ研修等を実施	—	—	
29	子ども安全総合対策事業	・性被害に遭った少年に対する支援活動 生活・生育環境等を背景とした性被害に遭った少年について、当該少年の精神的被害回復や達成感・自己肯定感の醸成のため、被害少年や保護者への継続連絡・面接、農業体験や就学就労支援等を実施	・面接等による助言指導を実施	(再掲)	(再掲)	県警人身安全・少年課		
30	子ども安全総合対策事業	・被害情勢等の広報・啓発 地域の性被害等情勢の把握分析と各種機会・媒体を活用した情報発信の強化	・各種会議、ミニ広報誌、ケーブルテレビ等あらゆる機会・媒体を通じて犯罪情勢を広報啓発	(再掲)	(再掲)			